

# 秋田県設計VEニュース

Vol.9 H20.2.20

## ◆ 管理者のための『VE 総合研修』を開催しました。

1月30日、県庁第二庁舎大会議室で「管理者のためのVE 総合研修」を開催しました。この研修は設計VEを導入して2年が過ぎようとしている今、総合的なマネジメントを行う立場の管理・監督者の方々に、さらにVEへの理解を深めてもらうために開催したものです。（参加者数は一般職員(50人)を含め114人）

中山建設交通部長は挨拶の中で、「コストと技術のバランスは難しい課題であるが、県民のためにいかに役立つものを造っていくかという視点に立ち、一人よりも大勢の知恵を結集して事業を進めることが重要である」とVEの必要性を話されました。

続いて、当県のVEアドバイザーである横田尚哉氏（パシフィックコンサルタンツ㈱VEセンター長）からは「設計VEが公共事業の未来を拓く」と題して、「設計VEが注目される理由」、「設計VEの原理と概論」、「継続的に効果を得る秘訣」をテーマに講演して頂きました。

また、技術管理室から「設計VE実践結果の報告～VE提案とその反映～」として、これまで実践した中から3件の事業（道路、治山、建築）についてのVE提案と、その提案が実際どのように反映されているかについて報告しました。



（中山建設交通部長の挨拶）



（横田氏による講演）



## ☆VE 総合研修の参加者に行ったアンケートの結果

VEの概要について理解できた（概ね理解できた）と回答した方は93%で、VEは効果があると感じた方が94%、VEは必要であると感じた方が99%と非常に高い割合を示しています。

さらに、今後VEを活用したいと回答した方が78%であったほか、自分の部下にVE手法の習得や検討会への参加を希望した方が80%となっています。

これらの結果から、上層部へも設計VEが確実に浸透しつつあるように感じられます。

## ◆ 河川砂防部門(3事業)のVE報告会を開催しました。

VEニュースVOL. 7, 8で紹介した大阪台沢(砂防事業)と早口林道(ダム管理用通路)に、谷地沢(砂防事業)を加えた3件の設計VE成果報告会が2月5日に開催されました。

東成瀬村谷地沢は砂防堰堤2基を計画した予備設計(2億1千9百万円)に対して設計VEを実施しました。工種がダム工だけという事もあり、コスト削減目標は10%とていましたが、堰堤1基+山腹工という代替案で23%のコスト縮減提案となっています。報告のあった3事業を合わせると2億7百万円のコスト縮減提案となっています。

また、この報告会では各VEメンバーから、ワークショップに参加しての感想が報告されています。

- ・ 大阪台沢に参加した鎌田利彦副主幹(雄勝建設部)は、昨年まで担当していた事業で複雑な心境だったが、チームで検討することでコスト縮減提案できることは素晴らしい。今後もVEを活用していきたい。
- ・ 早口林道に参加した菅原タ子主任(秋田港湾)は、VEについて良く理解出来ていなかったため、参加には後ろ向きだったが、始めてみると大変面白かった。検討過程も勉強になり、いろんなことに気づかされた。
- ・ 谷地沢に参加した三浦清伊智主任(技術センター)は、メンバー構成によって提案内容が違って来るように感じた。違うジャンルのメンバーでの検討も必要ではないか。今回のWSは良い勉強になったし、センターとしてもVEへの取り組みに力を入れていきたい。



(大阪台沢の成果報告状況)



(河川砂防課 藤田流域防災監による講評)

## ◆ VEアドバイザーをリーダーに2件のワークショップを實踐中。

2事業(ほ場整備、ため池環境整備)とも1月に前半のWS(2日間)を行い、3月上旬に後半のWS(2日間)を開催する予定です。

報 告：秋田県建設交通部技術管理室建設マネジメント班